第32号

森の通信

宮崎県総合博物館
発行日/平成14年6月1日

発行/宮崎県総合博物館　〒880-0053　宮崎市神宮2丁目4番4号TEL(0985)24-2071
http://www.pref.miyazaki.jp/museum/　E-mail:museumso@miyazaki-nw.or.jp

特別展　スイスバーゼルブッペンハウス博物館・ドイツシュタイフ博物館所蔵

テディベア生誕100年展

－人気の謎とベストコレクション－

2002年 7/6［土］～7/28［日］　■休館日：毎週月曜日

■開館時間：7月6日～7月19日・・・午前9時～午後5時まで（入館は4時30分まで）
7月20日～7月28日・・・午前9時～午後6時まで（入館は5時30分まで）
■観覧料：大人500(400)円　高大生300(200)円　小中生200(100)円(　)内は20名以上の団体

「テディベア」の名前の由来は、いくつかありますが、もっとも有力なものが第26代アメリカ合衆国大統領セオドア・ルーズベルトにまつわるものです。

1902年、国民からテディの愛称で呼ばれていたルーズベルトは、旅行先で狩りに出かけましたが獲物を捕ることができませんでした。それを見た同行者はすでに捕まえていたクマを連れてきて、ルーズベルトにとどめを打たせようとしましたが、ルーズベルトは、これを拒否したのです。

このことは、新聞に風刺漫画付きで載り、大きな反響を呼びました。その後、ルーズベルトに関わる漫画には、必ずクマが登場するようになり、テディと言えば、ベアというイメージが国民の間に定着していきました。同じ頃、ドイツ・シュタイフ社から輸出されたクマのぬいぐるみが人気商品となりつつあったため、しだいにルーズベルト大統領とクマのぬいぐるみが結びついて「テディベア」と呼ばれるようになったと言われています。

今回の展覧会では、世界初出展を含む約400体のテディベアを展示し、世界中で愛されてきたテディベアの持つ歴史的背景をその時々の生活文化と対比させながら解説し、庶民の中で生き続けてきた文化を紹介します。また、大型モーションディスプレイの展示や体験コーナーを設けるなどして、見て、触れて、参加できる会場を準備いたします。

博物館利用者の声

常設展示室を見学した子どもたちから、お手紙をいただきました。

小学４年生（女子）：きのう私たちのために博物館を見学させてくださってありがとうございます。わたしは鳥、魚、虫、花そのほかいろいろとよくわかりました。昔のものがおいてあるところで思ったことは、昔の人は「こんな道具を使っていたんだな」ということです。みなさんもこれからがんばってください。

小学４年生（男子）：この前は、博物館の中を見学させていただいてありがとうございました。ぼくは、化石やいんせきが好きなので、きょうりゅうの化石のことを調べました。そうしたらよくわかりました。こんどもいつかきますので、待っていてください。

中学１年生（男子）：先日は資料室や展示場を案内していただいてありがとうございました。僕たちは地球環境の大切さがよく分かりました。特に絶滅寸前の動物や植物がたくさんいるのに驚きました。また資料室のオケを作る体験コーナーではその仕組みがよく分かりました。また見学に行きます。

※原文のまま掲載しました。

「森の教室」開設のお知らせ

本年度５月より「森の教室」という新講座を開設しました。この講座は、学芸課職員または各分野でご活躍の県内の方を講師とし、自然史・歴史・民俗・博物館情報などについて、毎月第４日曜日（12月は別計画）の午後１時30分から、約１時間の講話を行います。本講座には、どなたでも参加でき、参加料は必要ありません。なお、希望される方は、事前に電話などで申込みをしてください。

6月23日	宮崎の両生類	**11月24日**	近現代の身近な民俗資料
宮崎県に生息するカエルやサンショウウオを紹介します。		レコードや玩具、雑誌等、これから民俗資料となる身近なものを解説します。	
7月28日	中生代の生きもの	**12月上旬**	江戸時代の旅　外部講師:河野誠氏
恐竜を中心に中生代の生きものを紹介します。		幕末の旅日記「日用記」から、庶民の旅を考えます。	
8月25日	古墳出土の鉄製武器	**1月26日**	近代の宮崎をつくった人々
古墳から出土した鉄剣・鉄刀・鉄鏃等を紹介します。		近代期に郷土宮崎の発展につくした人々を紹介します。	
9月22日	植物の名前の話	**2月23日**	霧島のきのこ
植物の名前の由来や方言について解説します。		霧島山で見られるきのこをスライドや標本で紹介します。	
10月27日	西都原を顕彰しようとした人々	**3月23日**	世界のおもしろ体験講座
江戸時代、西都原を調査・考証した人々を紹介します。		日本を含め世界中の博物館のユニークな体験講座を紹介します。	

※講座の期日・内容などが変更になることがありますので、事前にご確認ください。

ベッコウサンショウウオ

昭和期の玩具やレコード

平成14年度博物館講座（６月以降の予定）

実施月日(曜日)	講座名	実施場所	実施月日(曜日)	講座名	実施場所
6月8日・22日・15日・29日いずれも土曜日	大型縄文土器作り	西都原古代生活体験館	10月20日(日)	大地の物語－深海底の世界－	日南市大堂津
			10月27日(日)	野の花ウオッチング(その２)	えびの市えびの高原
7月13日(土)	化石のレプリカをつくろう	博物館	10月下旬	何がでるかな？遺跡発掘初体験	児湯郡内を予定
7月26日(金)	岩石・化石の標本をつくろう	博物館	11月６日(土)	土器の野焼き	西都原古代生活体験館
7月27日(土)	植物の標本をつくろう	博物館	11月17日(日)	文字の伝来と南九州の古代文字資料	博物館
7月27日(土)	夏休み古墳探検！	西都原古墳群	11月23日(土)	きのこウオッチング(その２)	宮崎市
7月28日(日)	昆虫の標本を作ろう	博物館	12月８日(日)	宝石の科学	博物館
8月２日(金)	古代の顔料復元	西都原古代生活体験館	1月18日(土)	街角の民俗学　琺瑯看板の魅力	博物館
8月10日(土)	干潟の生きもの観察会	延岡市土々呂	2月８日(土)	触察体験！歴史に触れてみよう	博物館
8月25日(日)	採集作品の名前を調べる会	博物館	2月16日(日)	バードウオッチング	高原町御池
8月29日(木)	採集した石の名前を調べる会	延岡市	2月22日(土)	佐土原人形製作体験講座	博物館
9月21日(土)	きのこウオッチング(その１)	延岡市行縢山	2月23日(日)	古代食パーティー	西都原古代生活体験館

☆ 遺跡からのおくりもの 宮崎の出土遺物
実施月　７月・２月の２回
※この講座は、市町村の生涯教育の団体等を対象とし、博物館から講師が出向いて実施する講座です。講座の実施日と会場は申込みのあった団体とご相談して決定します。申込み団体多数の場合は、抽選させていただきます。

展示解説員の声

展示解説員としてはや３年目を迎えた今でも、お客様からいろいろなことを教えていただく機会が多く、新たな発見と勉強の毎日です。

この季節は、児童・生徒のみなさんが学校単位でたくさん来館されます。静かだった神宮の森が急に賑わいはじめる頃です。展示室で質問を受け、驚きの声を耳にし、楽しそうな笑顔をみると、私たちも元気がわいてきます。また、今年は宮崎県がワールドカップサッカーのキャンプ地になっていますので、県内外をはじめ国外のお客様方が来館されるのを楽しみにしています。

猪股陽子

西都原資料館より

平成14年度西都原新出土資料展

西都原資料館では、平成７年度から行われている西都原古墳群の発掘調査で確認され、新たに明らかにされたことをとりあげ、毎年新出土資料展として資料を紹介しています。今年は、昨年度調査された酒元ノ上横穴墓群の出土品を中心に展示します。

展示期間：平成14年７月２日（火）～９月１日（日）

「夏休み古墳探検！」受講生募集

小・中学生が対象です。夏休みの課題研究としても扱える内容ですので、ぜひ参加してください。

日時：平成14年７月27日（土）午前10時～12時

【問い合わせ先：西都原資料館　Tel/Fax 0983-43-1354】

西都原古代生活体験館より

夏休み半日講座
「子ども科学者コース」
～石おのの切れ味を試そう～

実験考古学の世界をのぞいてみませんか？

石おので何分かかって直径５～７cmの木を切ることができるでしょうか？そして、石おので木を切るコツは？

夏休み期間中の水・木・金曜日、午前９時～12時にやっています。

所要時間は、君次第！

＊「小枝人形作りコース」もあります。

授業に役立つ古代おもしろ講座
「古代の顔料復元」
～いにしえの色彩を求めて～

古代の顔料を（赤・白・黄・黒・緑）復元します。

先生方、参加しませんか。

日時：８月２日（金）

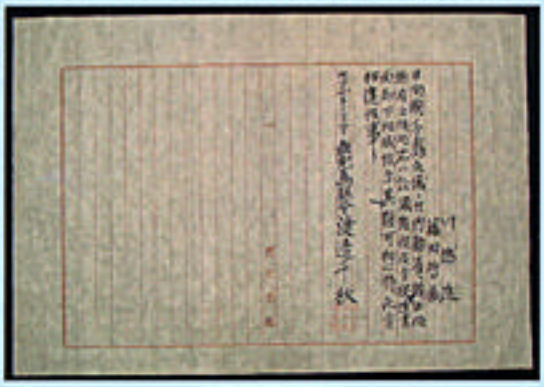
午後１時～３時30分

【問い合わせ先：西都原古代生活体験館
Tel 0983-43-5002　Fax 0983-43-5006】

所蔵資料紹介

中村文書「日向国分県請願書」と「分県請願却下状」

明治６（1873）年に置かれた最初の宮崎県は、明治９年に鹿児島県に合併されました。西南戦争後、鹿児島県下にあって復興が進まず、宮崎県の独立をめざす「分県運動」がはじまりました。いく度かの挫折を経ながら運動が実って、明治16年５月９日に宮崎県が再置されたのです。写真の資料は、運動の中心人物であった川越進が残した中村文書（中村哲也氏寄贈）に収められ、歴史常設展示室で公開しています。分県を願う日向国の人々と、阻止しようとする鹿児島県令とのせめぎ合いがみえる資料です。明治という改革の時代に生きた人々が、宮崎県を独立させようとした情熱を感じとってください。



分県請願却下状

日向国分県請願書

常設展示室探検

今年度、博物館では常設展示室を利用した催し物をいくつか準備しました。学校週５日制も始まりましたので、より多くの方々が来館され、常設展示室を楽しんでいただけるようにしていきたいと思います。それでは、今年度の催し物をご紹介しましょう。

【常設展示室定時解説】

自然史・歴史・民俗の各展示室をご案内しながら、資料やテーマなどを、やさしく詳しく解説します。毎週土曜日・日曜日と祝祭日に、午前11時と午後２時の２回行います。

【クイズラリー】

昨年度から始まって大好評のクイズラリーは、問題用紙にある資料を展示室で探しながら問題を解いていく学習活動で、初級と中級に分かれています。対象は小・中・高校生で、毎月第２・第４土曜日に行います。参加料と当日の常設展観覧料は無料です。

【紙芝居】

歴史展示室の「時代の広場」で昔なつかしい紙芝居を実演しています。第１・３・５土曜日、毎週日曜日、祝祭日に、午前11時半と午後２時半の２回行います。

【むかしのあそび体験ひろば】

第１・３・５土曜日、歴史展示室の「時代の広場」で紙芝居と一緒にむかしの遊びを体験します。メンコやお手玉、ケン玉やおはじきなどを使ってみんなで楽しく遊びましょう。小・中・高校生は当日の常設展示室観覧料が無料になります。

幸島のサル写真展

串間市にある幸島は、周囲約４kmの小島で、日本のサル学の発祥の地と言われています。ここには百頭ほどの野生のサルがいて、文化的行動をするということで有名です。この写真展は、京都大学霊長類研究所職員の山口直朔さんが30年にわたって撮り続けた写真により、幸島のサルの生態を紹介するものです。

写真は、歴代ボスザル、有名なイモ洗いやムギ洗い、子ザルの無邪気な遊びや水泳、グルーミングなど生活の様子を写したものです。国の天然記念物にも指定されている幸島のサルの社会を知るまたとないチャンスです。

期　間：９月10日（火）～９月29日（日）　　観覧料：無料

博物館からのお知らせ

無料観覧のご案内

博物館では、以下のとおり常設展示室の無料観覧を定めています。どうぞご利用ください。

☆毎週土曜日（対象：小・中・高校生）
☆５月５日「こどもの日」（対象：小・中・高校生）
☆11月３日「文化の日」（対象：全員）
☆身体障害者手帳・療育手帳・障害者手帳をお持ちの方とその介護の方。
☆宮崎県内の小・中・高校の学校行事に伴う団体利用（申請が必要）

※西都原資料館も同様の取り扱いになります。

開館時間を延長します

７月20日（土）～９月１日（日）は開館時間を午前９時から午後６時までとし、通常より開館時間を１時間延長します。なお、入館は午後５時30分までとなります。どうぞこの機会を利用して、ゆっくりご見学ください。

博物館の友の会入会のご案内

☆年会費は？

・個人会員　小中学生：1,000円　高校生以上：2,000円
・家族会員　2,500円（同居の方なら何名でも結構です）
・賛助会員　10,000円（企業・団体対象）

☆会員の特典は？

・無料で常設展示室を観覧できます。
・友の会主催の行事に参加できます。
・会報、博物館の各種催し物の案内を受けることができます。
・友の会の発行物を割引価格で購入できます。

※手続きは博物館へお問い合せください。